

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371500352
事業所名	サポートハウスおおばり

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	今年度は町内の組長を務め、ホームを理解して貰えるように広報を回し、集金の際に地域の方と交流を図っている。地元の夏祭りや秋祭り、自治会の清掃にも積極的に参加している。ボランティアではマジック、バイオリンの演奏の受け入れ、また、中学校の職場体験や学習塾の体験学習の受け入れを行うなど、交流を深めている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	会議はいきいき支援センターの職員、民生委員、薬剤師、自治会長等の参加で年6回開催され、意見交換、アドバイスを受けて運営に取り組んでいる。薬剤師から感染症についての予防、対応を聞き、職員会議で話し合っ実践に繋がっている。民生委員からの提案でコミュニティセンターで開催されている健康教室等に参加している。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	生活保護の利用者の件で保護課の担当者に相談したり、アドバイスを貰う等協力体制が図られている。福祉課には更新の手続き等で出向いた際にホームの現状を周知して貰えるように努めている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	日々の支援の中で利用者の思い、要望を聞き職員会議で話し合いホームでの反映に努めている。毎月発行される「サポートハウス通信」は利用者の様子が記載され家族の楽しみとなっている。また、面会時には意見、要望を聞くようにコミュニケーションをとり、ホーム行事には家族参加を呼び掛け、参加の際にも交流を図っている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	○	○	○	○	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。